

中野区子どもの権利に関する条例が制定されました！

令和4年第1回定例会にて「中野区子どもの権利に関する条例」議案が賛成多数で可決成立しました

基本理念だけでなく、「中野区子どもの権利委員会の設置」と「中野区子どもの権利救済委員の設置」を規定したことは高く評価できます

甲田ゆり子は、区議会で最も早く平成26年から「子どもの権利条例をつくるべき」と提案してきました。その後、平成28年の児童福祉法改正では、子どもが権利の主体であること、子どもの意見尊重が、平成30年の改正では、児童の権利擁護、体罰の禁止が法定化されています。

本条例には、「だれ一人ひとり取り残すことなく、全ての子どもが幸せに生きていけるよう子どもの権利を保障します」と記されました。

私は、子どものセーフティネットの視点を持つことがこの条例の肝であると主張しました。条例が制定されても、実際に困難に直面している子どもや子育て家庭が本当に救われなければ、絵に描いた餅、となってしまいます。「子どもの地域包括ケア」については、まだまだ写真すら描けていない



甲田ゆり子は賛成討論を行いました

中野区の実態があります。それぞれの家庭の困難度に応じてコーディネートできる人材を配置するなど、地域の力と資源を最大に活用した、いざと言うときの体制づくり・子どもの包括ケアシステム構築を急いでほしいと求め、賛成の討論としました。

ナカコメチャンネル 始めました！

中野区公明党議員団が
中野区政の情報について
短い動画で配信しています



ご視聴とチャンネル登録を
お願い致します▶▶▶▶▶

▲ナカコメは
こちら

区民相談 (生活相談)件数

2021年12月～
2022年3月…107件
累計2,983件

*2011年5月
初当選時より累計

甲田
ゆり子
連絡先

公明党控室…TEL.03-3228-8875 FAX.03-3389-8680
ブログ………http://koudayuriko.com/blog/
Eメール………kouda-yuriko@aioros.ocn.ne.jp
Instagram…https://www.instagram.com/kouda_yuriko/
Facebook… ネット検索は…甲田ゆり子
ホームページ…http://koudayuriko.com/



こう だ 甲田ゆり子NEWS

生まれ育った中野を笑顔輝くまちに



VOL.032

発行元：中野区公明党議員団
2022年 初夏号

高校3年生まで医療費無償化の 実現(所得制限なし)へ前進



- 東京都では、令和5年度から高校3年生までの医療費無償化事業を開始する自治体に対して令和4年度にシステム構築費及び医療費の半額を補助すると発表。
- これを受けて中野区公明党議員団は2月3日、令和5年度から「所得制限なし」で実施するよう、酒井中野区長に対して緊急要望していました。



その後3月28日、中野区は、「所得制限を設けず18歳(高3)までの医療費無償化の実施に向けた検討を進める」ことを明らかにしました

ウクライナから避難される方の ワンストップ相談窓口を開設

- ロシアによるウクライナへの非人道的な軍事侵略が続いています。
- 公明党議員団は、4月7日、中野区長に緊急要望し、全庁横断的な支援を可能とする避難民の実態把握及び支援方法の検討、相談窓口と担当の設置など9項目を緊急要望し、4月13日、窓口開設に至りました。



ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口(区民文化国際課)
TEL:03-3228-5480
Mail:bunkakokusai@city.tokyo-nakano.lg.jp

コロナワクチン3回目 中野サンプラザでは当日枠も

対象の方

2回目接種後6か月経過した18歳以上の区民または中野区に在勤・在学の方で、接種券をお持ちの方

ワクチンの種類 武田/モデルナ社製ワクチン

中野区内在住・在学・在勤の
18歳以上の方へ

新型コロナワクチン3回目接種
中野サンプラザでの当日申し込み

実施期間 4月15日(金)～5月15日(日)

申込時間：先着順

- 月・火・木・土・日曜日：午前10時30分～午後4時30分
- 水・金曜日：午後1時30分～6時30分

認知症無料検診 (中野区もの忘れ検診)の実施

認知症の早期発見のため、無料で受けられる「中野区もの忘れ検診」が9月にスタート

対象は、2023年3月31日時点で70歳から75歳までの区民で、うち75歳の方には8月下旬頃、一斉に受診券が届きます。(70～74歳は希望により申込制)約50か所の医療機関で検診を行う予定です。届いた資料でまずはセルフチェック。その後検診実施機関を受診。専門医療機関の紹介や受診後は継続的な相談、交流場所の紹介、介護サービスへの利用勧奨などが行われます。

産後ケア事業の拡充

産後ショートステイ・デイケア・助産師訪問の3つの産後ケア事業が利用しやすく

■妊婦面接(かんがるー面接)でケアカードを全員に
これまでは産後に支援が必要と認定した方にのみに渡していたケアカード。甲田ゆり子は、これを全員手交に変更するよう粘り強く訴えてきました。産後に予期せず辛くなった場合も必要な時すぐにケアを受けられるようになります。

■産後ケア事業の各利用回数の制限を柔軟化
サービス種類ごとの利用回数の壁を取り払い、全利用回数の合計15回の中で利用者のニーズに沿ったサービスが利用できるようになりました。

※ただし、ショートステイについては最大7日迄の利用
※利用できる期間は今まで通り、ショートステイは生後5か月になる前日、デイケアは生後7か月になる前日、アウトリーチは生後1歳になる前日まで(多胎児は別規定)

認知症支援拠点が開所

認知症に関する相談ができるカフェが中野区内すこやか圏域ごとにオープンしました

中野区(地域支えあい推進部地域包括ケア推進課)の委託事業です。予約不要。参加費無料(お茶代実費100円程度)。地域包括支援センター、中野区役所、認知症疾患医療センターなどと連携できます。

もの忘れが多くなった・気持ちが落ち込む・以前より軽びやすくなった…。家族のことについてちょっと相談したい・話したいなど、どんな方でも利用できます。



子宮頸がんワクチンの キャッチアップ接種

子宮頸がんは、20～30歳代に多く、毎年1万人以上が罹患し、約2,900人の方が亡くなっています

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染を防ぐワクチンは、2013年に定期接種化され、直後に副反応事例の調査のため、厚生労働省が積極的な勧奨を中止していましたが、このたび、安全性・有効性が確認され、(4月から)勧奨が再開しました。

対象は小6～高1女子の接種を希望する方です。

この8年間に接種機会を逃した1997年から2005年生まれの方は、2022年4月から2025年3月までの3年間についてはキャッチアップし、無料でワクチン接種ができます。



ベビーシッター利用支援事業

在宅子育て家庭(未就学児)を対象に安価で利用できる制度が10月から

甲田ゆり子は、就労していない、もしくは育児中の在宅保育者(保育期待機となっていない家庭)も、日常生活上の突発的な事情や社会参加などにより一時的に保育を必要とする場合、東京都の補助事業(一時預かり支援)を活用してベビーシッターを安価で利用できるように事業化すべきと提案してきました。

注意 この事業とは別に、従来から保育認定を受けている家庭の「ベビーシッター利用支援事業」もあります。

「見学に行ってみました!」
「Dサロンのオハナ」



(2022.4.11)

毎週 月曜13時から16時まで
あいロード広場(新井1-22-6)
薬師あいロード商店街内

令和小学校の 新校舎が完成し供用開始

4月、令和小学校(新井小・上高田小の統合校)新校舎がオープンしました。地上5階建て、学童クラブやキッズプラザを併設。体育館の床はクッション性の高いスポーツシートで、エアコンは空調効果を生み出す区内初の輻射パネルと併用。このほか、屋上プール、ガラスの壁の図書館、子どもたちが楽しく集い学べる段々スペースや、憩いの小ホール(ワークスペース)もあります。



▲動画で詳しく説明しています

区内5か所目の すこやか福祉センター

温暖化対策推進オフィス跡施設(中野区中野5-4-7)へ整備予定 2026年度から

すこやか福祉センターの中部圏域と北部圏域を3圏域に再編し、北東部に5か所目のすこやか福祉センターを整備する基本方針が策定されました。改修工事は2024年度完成予定で、昭和区民活動センターの建て替え仮施設として使用後、2026年度にすこやか福祉センターとする予定です。



▲温暖化対策推進オフィス跡施設(地下1階地上5階建)現在は1・2階を保育園(中野ここわ保育園)として使用しているのみ

その他

児童相談所開設、子ども・若者相談スペースのオープン、公園の再整備計画の実施、食品ロス削減推進計画の策定、不妊治療の保険適用範囲拡大、胃がん内視鏡検診、ひきこもり支援、人工呼吸器の非常用電源装置の給付、学校のオンライン環境整備、教育相談体制・学習支援の充実、子の養育費の取り決めに係る費用補助開始、哲学堂公園保存活用計画の策定、乗り合いタクシー等による新交通システムの実証実験(大和町・若宮)など、求めてきた事業が拡充します。

平和の森小学校の 新校舎整備基本計画

～児童の安全最優先で、新校舎の早期完成を～

3月に平和の森小学校新校舎整備基本構想・基本計画案が示され、今後実施設計が行われます。新校舎は、法務省矯正研修所跡地へ建築され、旧中野刑務所正門は現在の位置から学校建設地外へ曳家により移設することが1月に示されました。現在のところ、現学校跡地は売却し、売却益を学校建設に充てる予定となっています。

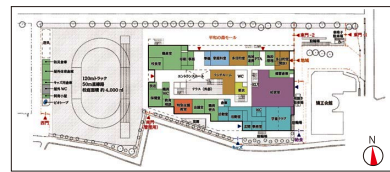


新校舎整備スケジュール

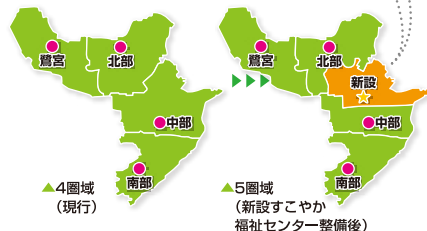
2025年度から校舎新築工事、
2027年度中に完成・供用開始予定

2027年度の同学校推計児童数

778人、24学級



上高田・新井・昭和・東中野地域は新たな圏域となります。



▲4圏域(現行)

▲5圏域(新設すこやか福祉センター整備後)